

令和4年度 年間指導計画

A科:生物科学科 B科:環境科学科 C科:食農科学科

教科名	保健体育	科目名	体 育	単位数	2	履修学年・クラス	1ABC
担当者		使用教材	大修館書店 現代高等保健体育(保体701)				
学習目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を身に付ける。						
学習方法	実技 講義						
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨				
	知	知識・技能(技術)	個人的、集団的技能を身につけている。 運動の特性、練習法、審判法、豊かなスポーツライフの設計を理解している。 試合の運営方法を身につけている。				
	思	思考・判断・表現	運動種目に関する課題を発見し、その解決を目指して、思考・判断している。 自己や仲間の考えを他者に伝えられる。				
	態	主体的に取り組む態度	自ら意欲的に取り組んでいる。興味や関心を持っている。 互いに協力して運動している。公正な態度で競技している。安全に配慮して運動している。				
※定期考査については、上記の観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。							

学期	単元(題材)	学習内容	評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			知	思	態		
前期 中間	体づくり運動	オリエンテーション			○	知: ・サッカー(バスケットボール)に関する基本的な技能を身につけているか。 ・体づくり運動の特性を理解しているか。 新体力テストの実施方法を理解しているか。 ・サッカー(バスケットボール)の試合運営方法を理解しているか。 態: ・集団として行動するために、協力して活動しているか。意欲的に運動に取り組んでいるか。公正な態度でサッカー(バスケットボール)に取り組んでいるか。 思: ・自らの運動課題を把握し、適切な運動方法を理解しているか。	○授業態度 ○出席状況 ○新体力テスト ○実技テスト ○小テスト
	球 技	集団行動 体ほぐしの運動 体力を高める運動 新体力テスト サッカー (バスケットボール)	○	○	○		
	体育理論	スポーツの発祥と発展	○	○	○		
前期 末	体づくり運動	体ほぐしの運動 体力を高める運動	○	○	○	知: ・体づくり運動の特性を理解しているか。 ・バレーボールに関するオーバーハンドパス、アンダーハンドパス、スパイク、ブロック等の基本的な技術を理解しているか。 ・運動スポーツの学び方を理解しているか。 ・バレーボールに関するオーバーハンドパス、アンダーハンドパス、スパイク、ブロック等の基本的な技能を身につけているか。 思: ・自らの運動課題を把握し、適切な運動方法を理解しているか。 ・意欲的にバレーボールに取り組んでいるか。安全に配慮した行動を取れているか。	○授業態度 ○出席状況 ○実技テスト ○小テスト
	球 技	バレーボール	○	○	○		
	体育理論	スポーツの発祥と発展	○	○	○		

後期 中間	体づくり運動	体ほぐしの運動 体力を高める運動	○	○	○	知: ・体づくり運動の特性を理解しているか。 ・ソフトボール、バスケットボール、バレーボールの試合運営方法、審判法を理解しているか。 ・運動・スポーツの学び方を理解しているか。 ・ソフトボール、バスケットボール、バレーボールにおいて、基本的な技能を身につけているか。 思: ・自らの運動課題を把握し、適切な運動方法を理解しているか。 態: ・ソフトボール、バスケットボール、バレーボールにおいて、互いに協力して運動しているか。	○授業態度 ○出席状況 ○実技テスト
	球技	ソフトボール (バスケットボール)	○	○	○		
	球技	バレーボール	○	○	○		
後期 末	体育理論	スポーツの発祥と発展			○	知: ・卓球、バドミントンの試合運営方法を理解しているか。 ・運動・スポーツライフの学び方を理解しているか。 ・卓球、バドミントン、バスケットボールにおいて、基本的な技能を身につけているか。 思: ・自らの運動課題を把握し、適切な運動方法を理解しているか。 態: ・自ら意欲的に運動に取り組んでいるか。興味関心を持っているか。	○授業態度 ○出席状況 ○実技テスト ○小テスト
	体づくり運動	体ほぐしの運動 体力を高める運動	○	○	○		
	球技	選択(卓球・バドミントン)	○	○	○		
	球技	バスケットボール	○	○	○		
	体育理論	スポーツの発祥と発展	○	○	○		